

2019.7.13

◎特別ハンドリングセミ（指輪）のお知らせ

露木宏、宮坂敦子

前回、『日本の宝飾文化史』刊行記念ゼミ（後期日程）に昭和レトロの指輪をコレクターの飯塚昭子さん、酒井麻衣さんがご参加くださいました。その際にお見せくださったコレクションが素晴らしく、ぜひ文化史研究会でハンドリングセミさせてくださいませんかとお願ひしたところ、ご快諾いただきました。乙女心そそるたいへん可愛らしいレトロ指輪コレクションです。ハンドリングをしながら、つくられた時代や素材、つくりなどを考察していきたく思います。ハンドリングの点数は30点前後を予定。当日は飯塚さん、酒井さんもお参加くださいますので、ぜひご参加ください。

【開催日】

10月19日（土）14:30～16:30 くらい

【参加費】

2,000円（当日受付払い）

ご同伴者1名参加可。参加費はメンバーと同額。

【参加申込】

事務局深谷（info@jj-craft.com）までお申込みください。

※1クラス開催なので希望者は早めにお申込みください。

【お2人のご紹介】（事前にアンケートにお答えいただきました）

○飯塚暁子さん

1) レトロ指輪のどこに惹かれたか

もともと古いもの、朽ちかけたようなものが好きで、服やインテリアなど

アンティークやヴィンテージのものを愛用していました。
その後アンティーク着物と出会い、
大正から昭和初期の美しいテキスタイルや、
帯留や羽織紐など
日本の古い装身具にも目が向くようになりました。
その流れで、日本の古いリングなどの装身具と出会う機会があり、
そのデザインの美しさ、優美さに触れ、
これこそが私の好きな、求めているものだ！という強烈な一目惚れ状態でした。
大正から昭和初期が特に好きな時代で、
和と洋が出会ったデザインが好きなんだと思います。
その時代の文化や風俗に興味があります。

2) コレクション点数

リングは 70 点ほど、
その他ブローチや帯留め、羽織鎖、ピン、カフス、かんざし、懐中時計などで 40 点ほど？

○酒井麻衣さん

1)レトロ指輪のどこに惹かれたか

和洋折衷のデザインの中にも日本の装飾文化の流れや技術を受け継いでいる点。
ここまでやるか…というくらい細部まで丁寧に造られこだわりを感じる装飾に惹かれています。

2)コレクション点数

指輪 75 点ほど

その他帯留など 25 点ほど

計約 100 点

3)サイトやインスタなどお持ちでしたら

インスタグラム ID @sira_fuji_j

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>